

全国初

マイバッグを持ってお買い物に行きましょう

11月2日は「ノーレジ袋デー」

市民や事業者の代表で組織される、狭山市のごみ減量化推進会議「ではごみの減量と地球資源の節約のため、買い物袋持参運動(マイバッグ・キャンペーン)を毎年実施しています。この運動をさらに推進するためには市民・企業・行政それぞれが、一歩踏み出した具体的な行動をとることが必要です。そこで会議では、1年に1日、市内の商店はレジ袋を提供せず、市民は買い物袋を持参する「ノーレジ袋デー」の設置に向けて消費者や商店に意向調査を行い協力を依頼してきました。調査の結果は消費者の8割以上、商店主の約9割がノーレジ袋デーの設置に賛成というものでした。そこで、今年のリサイクル都市宣言記念日の11月2日は、全国初のノーレジ袋デーを実施します。皆さんご協力ください。



いいません、レジ袋

レジ袋をもらわないこと
でごみの減量と限りある
石油資源の節約につながり
ます。また、レジ袋をもらわ
ないことをきっかけに、毎
日の買い物スタイルを見直
し、簡易包装やリサイクル品詰め替えでき
る商品を購入したり、牛乳パックや食品ト
レイなどの店頭回収に協力するという取り
組みを広げましょう。

ごみの減量と 資源の節約

レジ袋を毎日1枚ずつも
らい続けたら、1世帯で年
間約2.5kg、狭山市全体で
は約150tもの量になり
ます。市では古紙やびん
缶などの資源「みも含めて
毎日150tものごみが排出され、その処

「ノーレジ袋デー」に協力します



岡野 拓男 さん
(狭山商工会議所商
業第一部会長)

地球環境に配慮
した商業活動、例
えばごみになる無
駄な包装を減らし
たり、リサイクル
しやすい商品を販売することなどは、今では
当然のことです。お客さまがそんなお店で
お買い物したい。という気持ちになる大きな
セールスポイントだと思います。レジ袋の節
約も有効な手段の一つと考えています。

市内には、地元に着した20の商店会があ
りますが、商店会でもお客さまにお買い物袋
を持参していただくようお願いしています。
また、お買い物袋を持参してくれたお客さま
へのサービスの導入を現在検討中です。
でも、環境に配慮した取り組みは、われわれ
商店主だけでできることではありません。メ
ーカや行政そして何よりお客さまの理解
と協力がないとできません。狭山市はリサイ
クル宣言都市全
国に先駆けた取
り組み、ノー
レジ袋デー」
を、ぜひ進
めていき
ましょ
う。



リサイクル宣言都市・さやま

「おしゃれな人、おしゃれなくらし」



松田美夜子さん
(生活環境評論家)

スーパーマーケットに立ち寄ったり、まちの商店街を歩いていると、布袋を持って買い物に来ている人に出会うことがあります。「あっ、なんてすてきな人...」「あっ、おしゃれな人...」と思ってしまう。

身につけている洋服がファッションの先端をいく高価なものであっても、その人がレジ袋を下げていると、全体の雰囲気のバランスがこわれて、ちっともおしゃれに見えませぬ。ヨーロッパのまちを歩くと、ほとんどの人が袋を持って買い物に来ています。そして、それがとても品が良くておしゃれに見えます。ムダなものは買わない。余分なものはもらわない。そして、ごみを発生させないようにしようという意識と行動が一緒になって、ヨーロッパの人々を美しく見せているのだと思います。

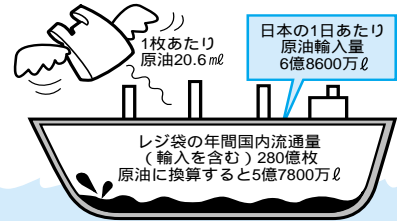
日本では布袋を持って出かける人は、まだ少ないのですが、早く日本も、ヨーロッパの人たちのように、さりげなく布袋を持って買い物に行くことが当たり前の社会にしたいと思います。

そのためには、みんなでおしゃれなくらしをめざしましょう。「袋はいりません。袋は持ってきましたから、ここに入れてください。」

元気にこうお店の人に伝えましょう。

ドイツの友人、ミュラーさんが言いました。「レジ袋を下げて歩いていると、地球環境もごみのことも全く無関心であることを自分で宣伝して歩いていることになる。」

すてきな日本人になりましょう。



(日本生協連、日本ポリオレフィンフィルム工業組合などのデータをもとに作成)

理に1日あたり約645万円も使われています。皆さんが買い物袋で毎日買い物をするれば、ちよつと1日のごみ処理費用を使わなくて済む計算になります。また、資源の節約から考えてみると、レジ袋は石油を原料とするポリエチレン製。日本生協連などでは、Lサイズのレジ袋を1枚作るために必要な材料

り1週間に8.4枚受け取っているといわれ、製造エネルギーを換算すると約20.6mlの原油が必要と試算しています。皆さんが買い物袋で毎日買い物をするれば、狭山市だけで1年間に約45万ℓもの原油を節約できることになるのです。

便利なレジ袋だけど...

レジ袋をこみ袋にしたり、濡れたものや汚れたものを入れていたかたもいらつしやると思います。有効に使っていただければ結構ですが、全国平均で1世帯あたり

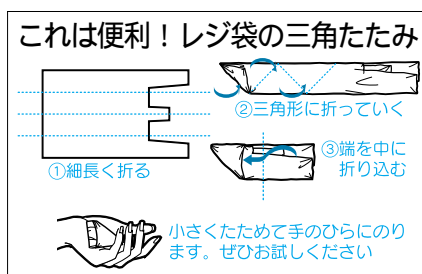
1週間に8.4枚受け取っているといわれ、製造エネルギーを換算すると約20.6mlの原油が必要と試算しています。皆さんが買い物袋で毎日買い物をするれば、狭山市だけで1年間に約45万ℓもの原油を節約できることになるのです。

マイバッグを持ちましょう

買った買い物用の袋を購入することもよいきっかけになるかもしれませんが、一度使ったレジ袋はたたくと本当に小さくなってしまいます。これをハンドバッグに入れておけば、仕事帰りの買い物の際に便利で、今から買い物袋を持参したり、バッグのなかに小さくたたんだレジ袋を常に入れておいてはいか

買物袋を持参することは、習慣になれば特に面倒なことではありませんが、実際の行動に移れない人が多いようです。例えば、気に入った買物用の袋を購入したとしても、よいきつかけになるかもしれませんが、一度使ったレジ袋はたたくと本当に小さくなってしまいます。これをハンドバッグに入れておけば、仕事帰りの買い物の際に便利で、今から買い物袋を持参したり、バッグのなかに小さくたたんだレジ袋を常に入れておいてはいか

がでしょうか。



「ノーレジ袋デー」に関するご意見をお待ちしています。
ご意見・問い合わせ廃棄物対策課内
狭山市のごみ減量化推進会議事務局へ
内線 3611・3612